

訂正履歴

- 2020.3.24 : 第 I 部 第 5 章 (theory15.pdf) p.60, 61
式 (5.10): $-\Omega^0 \rightarrow -\Omega$
式 (5.11): $-\Omega \rightarrow -\Omega^0$
式 (5.14): $\tilde{\Omega}_t^0 = \Omega_t^0 \rightarrow \tilde{\Omega}_t^0 = \gamma(\Omega_t + \frac{v}{c}\tilde{\Omega}_x) = \Omega_t^0$
式 (5.15): $\tilde{\Omega}_t = \Omega_t \rightarrow \tilde{\Omega}_t = \gamma(\Omega_t^0 - \frac{v}{c}\tilde{\Omega}_x^0) = \Omega_t$
- 2020.2.28 : 第 I 部 第 1 章～第 5 章と付録のオリジナル 公開
- 2021.4.24 : 第 II 部 第 3 章 公開
- 2021.4.30 : 第 I 部 第 4 章 (theory14.pdf) p.60, 61, 62, 63
式中のチルダ付き記号 $\tilde{\Omega}, \tilde{\Omega}^0, \tilde{\eta}$ 等をバー付き記号 $\bar{\Omega}, \bar{\Omega}^0, \bar{\eta}$ 等へ書き換え。
式 (5.28), (5.29) 書き換え。
式 (5.35), (5.36) を追加。一部書き換え。
- 2021.5.16 : 第 II 部 第 3 章 3.4 節 シュレーディンガー方程式の解釈を
3.4 節 波動関数の波数ベクトルの解釈
3.5 節 熱的揺らぎによって回転放射の場が 3 次元連続関数になる
に分割。
- 2022.8.30 : 第 II 部 第 2 章 2.4 節 粒子が持つ素過程の数 $k_s = 1, 2$ を
導入。
2.9 節全面的に書き換え。
- 2022.9.2 : 第 II 部 第 3 章 参照式番号
第 2 章の一部追加変更に伴う式番号の変更に伴って第 3 章で引用している
式番号の修正
- 2023.3.15 : 第 II 部 第 2 章 2.9 節「中性粒子のスピン及び磁気モーメント」
を書き換え。
- 2023.3.29 : 第 II 部 第 4 章 公開
- 2023.4.2 : 第 II 部 付録 公開。第 II 部 第 4 章 4.7 節を追加。
- 2023.5.14 : 第 II 部 第 4 章
4.8 節「重力場と近接作用媒体」を追加。
4.9 節「重力場と SP-ラインの場」を追加。
4.10 節「等価原理の新しい解釈」を追加。
付録 A.4 を追加。
- 2023.7.13 : 第 I 部 第 5 章
ベクトル記号の $\bar{\Omega}$ を $\hat{\Omega}$ に変更。
- 2023.10.12 : 第 II 部 第 2 章、第 3 章、第 4 章
記号 $\bar{\Omega}$ のバーを省略し、 Ω に書き換え。 $\bar{\eta}$ も同じ。
- 2024.1.12 : 第 II 部 第 2 章 2.9 節
 k_e の値に関する説明文の補強。
- 2024.5.20 : 第 II 部 第 2 章、第 3 章
波動関数のパラメータ δk および $\delta \nu$ を、粒子を静止しているように見る系 k^0

の値での表現に変更。

● 2024.6.28：第 II 部 第 4 章 4.6 節

力の要素、仕事、エネルギーから仕事およびエネルギーの項を削除。仕事、エネルギーの表式に現れる Ω^0 の解釈にあいまいさが残るため。